

社会福祉施設における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	訪問介護サービス提供中の利用者宅の台所で、調理の援助作業中に火にかけたフライパンに誤って接触してしまい、右手第1・第2指に火傷を負った。	61～29	10
1	17～18	厨房のコンビオーブンに入居者様の食事を入れようといつも通りに開けた途端、高温で一瞬にしてやけどを負った（不注意によるもの）。	63	1～9
2	22～23	特別養護老人ホームで夜勤介護業務従事中、電気ポットを倒し中に入っていた熱湯を足に浴び受傷した。	33～99	50
3	9～10	電気ポットの前日の残り湯を捨てる際に、流しの脇にポット置いてフタをはずしたところ、ポットが倒れ足を火傷した。	52～49	30
3	12～13	入所者への飲み物をつくっている途中、ポットの湯をプラスチック製の容器に入れて、そのあと容器のフタをし、容器の中に入れてあった粉とお湯をまぜるため容器を手でふっている途中、その容器が割れてしまい、中の湯が飛び散ってしまった。そのとき湯が左手と左手首にかかり火傷した。	20～99	50
4	14～15	洗濯室の洗面台の蛇口（お湯が出る方）から、お湯が漏れ出していたため蛇口の交換をしようとしたところ、元栓を探したが見つからず元栓を閉めない状態で作業を行った。その作業中にお湯が吹き出し、お湯を止めようとして左手にお湯がかかり、右手で蛇腹をつかんでしまい熱傷を負った。	59～99	50
	10～	本館給湯室で入所者様の飲み物を準備する為にポットからやかんに、お湯を移し替		100

4	11	える際、やかんの置き場所が不安定だったので、手を滑らせてしまいやかんが落下し、熱湯が足の甲にかかった。	63	～ 299
4	10～ 11	給食室で園児の給食調理中に回転釜に近づいた際に、段差で足が滑り、右肘下部が釜上部に接触した。続けて転倒を防ぐために、左手で釜上部を掴んでしまい、右肘下と左手の内側を火傷した。	22	30 ～ 49
5	9～ 10	施設利用者が線香に使用する為のライターを使って、ごみ箱付近で不要になった紙を燃やしたところ、火がごみ箱のごみなどに引火して、火災警報器が鳴った。報知機の音で火元が2階の奥だと分かったため、消火活動を行った際に、近くにあったシングルの掛け布団で火元を両手で包み込むように火を消そうとして火傷を負った。	65	10 ～ 29
5	15～ 16	利用者様宅にて味噌汁を調理中、布巾を探す為に中腰になってまな板を上げたところ、片手鍋の柄に当たり、鍋がひっくり返って味噌汁が右頬・右肩・腕にかかり、火傷をした。	63	30 ～ 49
6	14～ 15	ご利用者宅で調理（唐揚げ）終了後、油をオイルポットに移す時、フライパンの柄が緩んでいたのか回転し、左手に油がかかってしまい火傷した。	60	50 ～ 99
6	7～8	3階のSSにおいて、おしぼりの熱湯消毒を洗面器で行った。本来は、軍手とゴム手袋をする予定であったが、急いでいたため、軍手だけでお湯の中に両手を入れたため熱かったので、その場で軍手を外したところ、右手の親指の皮がめくれ、その他の部分は赤く腫れ上がっていた。この業務中、側に誰もいなかった。水で冷やし、看護師を呼んで応急措置をしてもらい、その後、病院の救急へ連れて行った。両手火傷（重症）で、全治3週間となった。	19	50 ～ 99
6	13～ 14	9Fキッチンでお茶の準備をしていた。ポットの水を足そうと軽量カップを探すもカップがなかった為、直接キッチンの蛇口から水を入れようと思い、ポット本体を両手で持ち上げた。その時、キッチンカウンター前をご入居者が不安定な状態で歩行されていた為、お名前を呼び気を取られた瞬間に、手を滑らせてポットを床に落としてしまった。その際、右足首から甲にかけ熱湯がかかり火傷した。	57	30 ～ 49
		昼食の味噌汁が、バツカンの蓋がロックされた状態で火にかかっていた。暖まり		

6	11~ 12	具合を確かめるため、ロックされた片方を外した途端、圧力が抜け、中の味噌汁が噴出し、体前面に降りかかった。ナースが衣服を外して冷水で冷やし、救急車を呼び、病院にて治療を受けた。	20 ~ 49	30 ~ 49
6	10~ 11	事業所5Fホールにて、利用者様用の白湯を作っている時、お湯の入っている透明の容器が倒れて両下腿にかかった。	34 ~ 299	100 ~ 299
7	6~7	厨房で朝食の準備中、茹でた野菜を冷やすためザルにあけようと鍋を持ち上げ、後方のシンクに移動したところ、急いでいたため鍋の底をシンクのフチにぶつけてしまい、その反動でこぼれた熱湯が右手にかかってしまった。	67 ~ 49	30 ~ 49
7	15~16	ダンプのバンパーに両足を乗せて荷台のセメントを引っ張り下ろそうとしたときに、左足から地面に降りたが、地面のアスファルトまでの距離が思ったよりもあり、つま先立ちになってしまい、左足に体重がかかり、足を痛めてしまった。	43 ~ 99	50 ~ 99
7	11~12	パン工房で菓子パンを焼いている時、冷めている天板だと思い、生地を載せ焼こうと両手（素手）で持ち上げたが、熱い天板だったため、両手掌の親指、人差し指の根本付近を火傷してしまった。	56 ~ 99	50 ~ 99
7	14~15	施設事務所で移動しているときに、台所の横を通り過ぎようとしたところ他の従業員の持ったポットのふたが外れこぼれた湯が右足にかかり火傷した。	33 ~ 49	30 ~ 49
7	11~12	畑作業中本人の体調が悪いようなので、本人の妻に連絡をとり、かけつけてもらう。熱中症の診断を受け点滴治療を行う。その後自宅療養していたが3日後自宅で調子が悪くなり、脱水症と診断される。その後通院点滴を続けていたが良ならず医院から紹介を受け、12日間病院に入院。	75 ~ 99	50 ~ 99
7	9~ 10	ビニールハウス内での野菜収穫作業後、自ら体調不良を訴え、冷房の効いた部屋で休憩をとっていたが、容態が悪化し、嘔吐、意識がもうろうとなった。その後、歩行困難や、職員の呼びかけにもあまり応じなくなったため、職員の車にて病院へ搬送し診察を受けた。	47 ~ 49	30 ~ 49
	10~	宅老所にて調理中、鍋を持っているときに転んで、煮汁が足にかかり、右足の甲を		1~

7	11	火傷した。	48	9
7	11~ 12	保育園の調理室で昼の給食の準備をしているときに、他人が持っていた沸騰した味噌汁が手にかかり火傷した。	33	30 ~ 49
9	17~ 18	当社厨房内にて作業中、湯沸したやかんを移動する際に、片手でガスコンロから降りし棚に戻す時にやかんが棚にぶつかり弾みでフタが外れお湯がこぼれて左右足部を火傷した。	41	30 ~ 49
9	6~7	ガスコンロから高さ2.5cm差がある作業台に9分目まで熱い汁物が入った鍋を移すとき、鍋が作業台にひっかかり、中身が右腕にかかり負傷した。	67	100 ~ 299
10	15~ 16	事業場調理場で、夕飯調理準備中、コンロの上の鍋を火が付いていないことを確認の上、把手をつかみ、移動させようとしたところ、把手部分がはずれかかり、とっさに右手で鍋底を支えたが、鍋の底が熱くなっており、右手中指、人差指に火傷を負う。	31	10 ~ 29
10	4~5	お客様宅にて訪問介護中、台所の床にこぼれているものを踏んでしまい、確認のためにしゃがんで立ち上がった際にガスコンロにかけてあった沸騰したお湯が入ったヤカンに手が当たり、ヤカンを落とし、熱湯で両足の甲を火傷した。さらに慌ててヤカンを拾おうとして、右手でヤカンに触れてしまい右手手首から手のひらにかけて火傷した。	54	10 ~ 29
11	9~ 10	工場の作業現場で、製品を入れたプラスチック箱（550×550×640cm、約2kg）を1段、2段、3段と積み上げ作業をしている時に、突然背中に痛みを感じたので、病院に行き診察してもらった（レントゲン写真）ら、圧迫骨折をしていた。	40	10 ~ 29
11	11~ 12	当社営業所デイサービス施設調理室にて利用者の昼食調理中、天ぷら鍋で冷凍のフライを揚げている時、揚げ油が右手人差し指と薬指に跳ねて火傷した。	65	30 ~ 49
11	11~	厨房において、沸騰したスープカップを入れたホテルパンを、デイサービス用の保温庫に入れる際、とても熱くなっていたホテルパンの横の部分を左手人差し指・中	33	100 ~

	12	指・薬指で触れてしまい火傷をした。		299
11	13～ 14	厨房のシンクで、熱湯をポットに注ぎ、ポットの蓋を閉めるために少し持ち上げてずらそうとした際、ポットが引っくり返り熱湯が自分にかかった。	32	100 ～ 299
11	10～ 11	特別養護老人ホーム本館3館食堂において利用者に提供するお茶を準備している時に、ポットに入っていた湯（約100℃）を茶番の入ったやかんに移す際、ポットの重さで手を滑らせ、左膝から足先にかけて5?入っていた湯のほぼ全部をかぶった。すぐに流水で5分程度冷やしたが痛みが治まらず当日受診した。	69	100 ～ 299
12	13～14	利用者宅で圧力鍋を使って筑前煮を作っていて、出来上がり、蒸気を抜いて蓋を開けようとしたときに爆発し、両内腿を火傷した。	46	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html